

◆ わたしの視点 6 ◆

地域の子供は地域で育てよう

平成20年6月9日午後、テレビニュースで市内の中学2年生が集団で同校、同学年・女子生徒への強盗、傷害で逮捕されたことが報じられた。逮捕と言うことは刑事事件であり村上市内に衝撃が走った。5月28日に同校中庭で起きた事で、4月に入ってから同様の出来事が同校で何件か起こり学校内の問題として解決しようと努力したが判断が甘かった、という趣旨で確か学校長が謝罪していた。なぜ事件にまでなったのか考えると誠に残念である。学校と教育委員会は、警察との間でどんな相談がなされ、生徒と保護者にどのような指導を行ってきたのか私は聞いてみたい。問題の学校に子供を通わせる親の話しでは授業を放棄して中庭にたむろする生徒が居て中庭族と呼ぶとの事。その日も生徒が中庭に集まっており、教師が教室に戻るよう呼び掛けに行ったが生徒は言う事を聞かず教師はその場から去ったとの事。勝手な事を言うようだが、教師たる者その場の状況を察する事が何故できなかったのか不思議でならない。学校長、教育長とも記者会見の中でも議会においてもはっきりした釈明も無ければ、当事者を含め生徒に対する今後のケアをどうするかの説明も無いとはどういうことなのか、しっかりして頂きたい。しかも翌日10日は議会が開かれたにも関わらず、議員から緊急質疑、緊急提案などの動議も出されなかった。今後の子供達への市の施策をどう考えているのか不安になる。事件の中身を聞いているだけでは子供達の生活環境は良くなりません。「地域の子供は地域で育てよう」のもと学校、家庭、教育委員会、警察、町内・集落が子供の健全な成長と環境づくりに地域の力を合わせてきた筈です。教師や親が子供の教育と躾を放棄してしまったら子供達はどうになってしまうのか。学校の外では今も地域の方々が子供達の健全育成の為にパトロール活動をしている。それなのに大切な学校と家庭での生活が荒れていてはもともこもない。教師は学校の中と外という意識の垣根を外し、親は子育ての悩みに押し潰されることの無いよう。地域の方々の力も借りて子供を地域で育てるという事について今一度、もう一度よく考える必要がある。